

平成 21 年 6 月

電気学会東京支部会員の皆さま

社団法人電気学会
東京支部長
日高 邦彦

電気学会東京支部
学生研究発表会（仮称）に関するアンケート結果報告および
「学生研究発表会検討WG」委員の募集

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、電気学会東京支部では研究成果の発表の場として、毎年秋に、連合研究会を開催しております。昨年度も 9 月 11 日、12 日の 2 日間、早稲田大学にて開催し、90 件の発表があり、約 400 名の方々にご参加いただきました。本研究会に対しては参加者の方々から一定の評価をいただく一方で、内容が専門的過ぎて、学生が参加しにくいという声も聞かれます。電気学会東京支部としては、将来の電気工学を担う若手研究者・技術者へのサービスは従来より重要であると認識しており、このたび連合研究会に『参加費無料』で学部生・大学院生の方々に研究発表いただく場として、『学生研究発表会（仮称）』の設置の検討を開始し、過日、東京支部の会員の方々を対象にアンケートを実施いたしました。

このたび、アンケート結果がまとまりましたので、下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきました会員の皆さま方にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

なお、今回のアンケート結果を踏まえまして、平成 22 年度からの開催に向け、「学生研究発表会検討WG」を設置し、検討を進めることといたしました。つきましては、WGの委員を募集いたしますので、ご関心のある先生方は、7月3日（金）までに電気学会東京支部事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

敬具

．アンケート結果および今後の方向性

1．アンケートの方法

(1) 対象者

電気学会メールマガジンの送付を希望されている東京支部在席の大学の名誉員、終身員、正員の 1,326 名

(2) 実施方法

メールでアンケートを実施。アンケートの項目は、集計結果を参照。

(3) 実施期間

平成 21 年 2 月 17 日～3 月 21 日

(4) 回答数および回答率

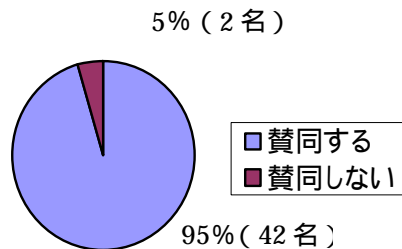
44 名（回答率 3.3%）

2. アンケート集計結果

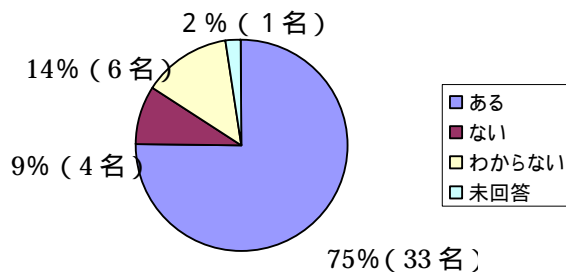
学生研究発表会（仮称）の概要

名 称	学生研究発表会（仮称）
対 象	学部4年生、および大学院修士1、2年生
分 野	電気工学を中心とした電気学会に関連する分野
参 加 費	無料
参加資格	電気学会会員資格は問わない
発表形式	口頭発表、もしくはポスター発表
位置づけ	卒業論文・修士論文（研究途中も含む）の研究成果発表、および積極的な学生相互の研究交換
特記事項	座長は電気学会東京支部協議員（大学の先生、メーカ等で構成）が務める

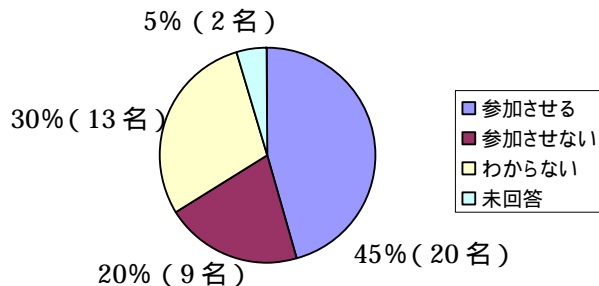
Q 1：連合研究会の中で、学部生・大学院生向けの『学生研究発表会（仮称）』を設けることに賛同されますか。



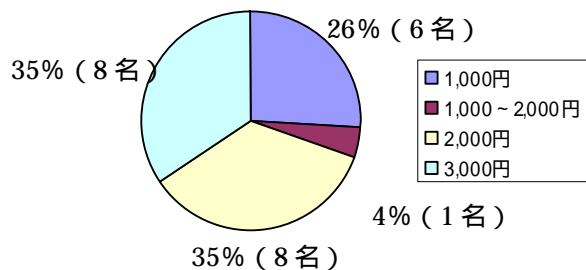
Q 2：『学生研究発表会（仮称）』では、学部生・大学院生の方々に卒業論文・修士論文（研究途中を含む）に関する研究成果を発表いただくことを想定しています。仮に、『学生研究発表会（仮称）』が設置された場合、学部生・大学院生を参加させる意思はありますか。



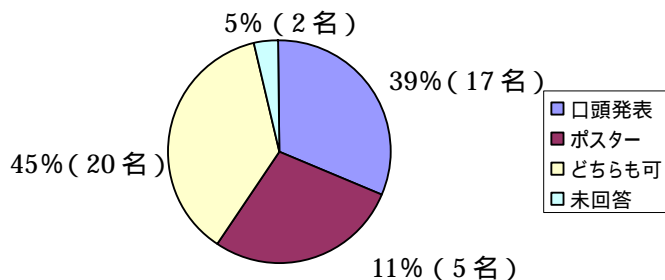
Q 3：参加費は『無料』とすることで考えていますが、仮に有料となった場合、学部生・大学院生を参加させますか。



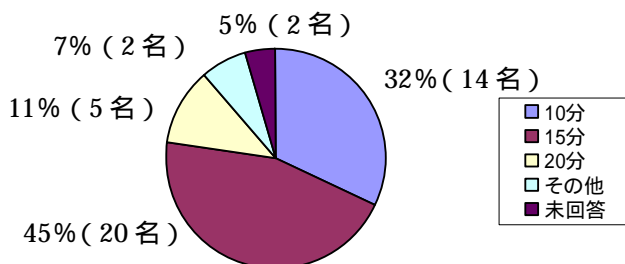
有料の場合、参加費はどの程度であれば、許容されるとお考えですか。



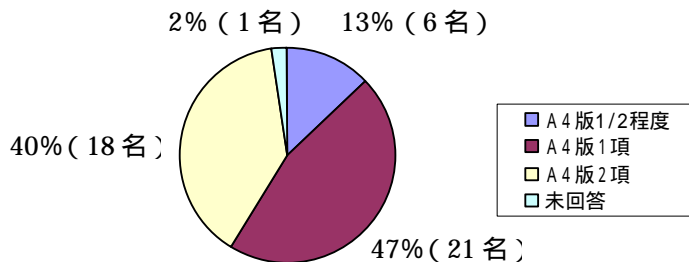
Q 4 : 発表の形式は、どのような形式を希望されますか。



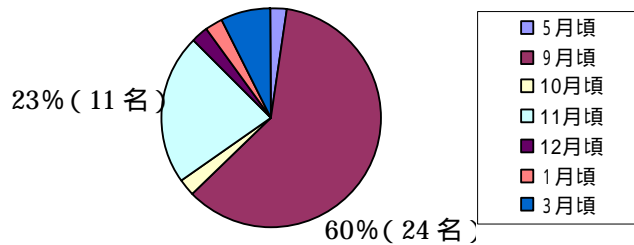
Q 5 : 口頭発表の場合、発表時間はどの程度希望されますか (質疑応答含む)



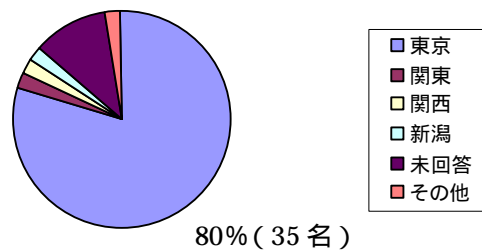
Q 6 : 予稿はどの程度の量が適当とお考えですか。



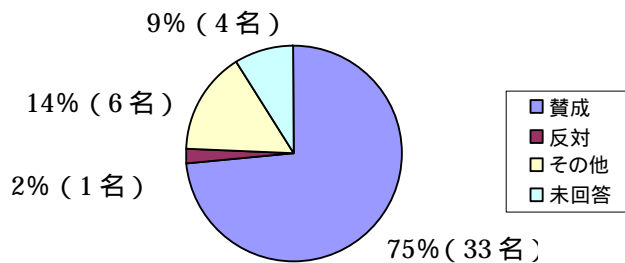
Q 7 : 現時点では連合研究会に併せ、9月頃開催を想定しておりますが、開催時期変更の要望が多い場合には時期を変更することも検討しております。開催はどの時期を希望されますか。



Q 8 : 現時点では連合研究会に併せ、東京地区での開催を想定しておりますが、要望が多い場合には東京地区に限定せず、実施することも検討しております。開催場所としてはどこを希望されますか。



Q 9 : 企業のリクルートのために企業紹介のブース等を設けることに賛同されますか。



お寄せいただきましたご意見につきましては、機微な内容も含まれるものもあるため、割愛させていただきました。

3. 今後の進め方について

現在の支部連合研究会は、それまで開催していた支部大会の課題を解決するため、発表、討論の時間を増やした、よりレベルの高い発表の場として、また、若手会員が気楽に聴講できる場として、昭和 63 年に支部大会に代わる研究発表の場として設立されました（電気学会誌「東京支部大会の中止と連合研究会の試行について」(昭和 62 年 6 月号)）

アンケートでは本検討の取り組みに賛同されるご意見を多数いただく一方で、既設の研究発表の場（全国大会、部門大会、支所研究会等）との棲み分け、投稿する論文の水準等、今後の制度設計に向けた貴重なご意見もいただきました。

また、関西支部の高専研究発表会を参考に、中国支部では平成 20 年度から高専研究

発表会、九州支部では連合大会での学生向けの協賛企業講演の実施等、支部でも若手に対象を絞った取り組みが始まっております。

東京支部では、アンケート結果および連合研究会設立の趣旨等を踏まえ、今後の方向性について検討した結果、広く学生の参加を促し、電気工学を中心とした電気学会に関連する分野の底上げを目的に、下記のとおり、平成22年度からの連合研究会での実施に向け、検討を進めることに致しました。

(1) 具体的な検討の方向性

アンケート結果等を踏まえ、今後、下記を軸に、検討を進める予定です。

名 称	：学生研究発表会（仮称）
対 象	：学部4年生、および大学院修士1、2年生
分 野	：電気工学を中心とした電気学会に関連する分野
時 期	：未定（連合研究会開催期間中に実施）
場 所	：都内
参 加 費	：無料
参加資格	：電気学会会員資格は問わない
発表形式	：口頭発表（15分（質疑応答含む））
予 稿	：A4版1項
位置づけ	：卒業論文・修士論文（研究途中も含む）の研究成果発表、および積極的な学生相互の研究交換
特記事項	：・座長は電気学会東京支部協議員（大学の先生、メーカー等で構成）が担当 ・企業紹介のブースを設置

設置について

- ・現在の連合研究会は、全国大会、支部大会と比較して、発表、討論の時間を増やした、よりレベルの高い発表の場となっている。学生が発表する場としては敷居が高く、学生同士の研究交流の場、プレゼンテーションの場等を新たに設けることに対し、95%の賛同が得られていることから、『設置』することで検討を進める。

論文発表のレベルについて

- ・論文発表のレベルは、『研究途中の卒業論文、修士論文レベル』とする。従来とおり、論文としての完成度が高いものは、完成度に応じて、全国大会、支部大会、研究会、連合研究会で発表いただく。

参加費について

- ・参加費については、45%が有料でも参加させると回答しているが、学生に負担させることは難しいこと、大学としても負担することが難しいこと等の理由により、有料の場合、参加させないとの意見が20%あること、さらに既存の研究発表会が無料であることを踏まえ、『無料』とすることで検討を進める。

【開催費用概算】

想定：発表学生数12名

（発表会場1教室、企業紹介ブース1教室、座長1名、副座長1名）

予算：約10万円（企業ブース展示のための諸費用は除く）

(内 訳)

項 目	概 算	備 考
会場費	2 万円	教室 2 室@ 1 万円× 2 室
印刷費	4 万円	予稿集 4 万円：200 部作成 プログラム 0.1 万円：200 部作成 (簡易印刷)
アルバイト代	2 万円	会場係 2 名@1 万円× 2 名
座長交通費	1 万円	座長 1 名は先生とし、実費を支給。副座長 1 名は企業在籍者とし、所属の企業でご負担。

発表形式と発表時間について

- ・ 口頭発表の希望が 39%、ポスターを含めどちらでも良いを含めると 84%であることを踏まえ、まずは『口頭発表』で進める。
- ・ 発表時間は 15 分を 45%、10 分を 32%の先生方が希望していることから、約半数が希望する『15 分』とする。

予稿の分量について

- ・ 予稿の分量については、A4 版 1 項が 47%、A4 版 2 項が 40%とご意見が分かれたが、学生の負担を軽減する観点から、『A4 版 1 項』とする。

開催の時期について

- ・ 9 月開催については 60%の支持が得られているものの、この時期では卒論の内容を発表する場合、十分な成果が得られていないこと、各部門大会の若手研究者向け発表と開催時期 (8 月下旬) が重なること等、様々なご意見がある。
- ・ 学生のための論文発表の場としても、一定規模の大会での発表であることが望ましいことから、『連合研究会開催期間中に開催』する。
- ・ 論文発表のレベルは、全国大会、支部大会、研究会、連合研究会との棲み分けはできているものの、卒論の進捗状況等を勘案し、連合研究会を 10 月以降に開催することも含め、検討する。この場合、会場の都合 (平日は大学で授業あり) で、土曜日、日曜日の開催となる見通し。

開催場所について

- ・ 旅費を考慮すると参加者の重心付近が最適と考えられること、
- ・ 外部から資金を調達する等、工夫して研究発表会を開催している支所もあり、各支所の研究発表会の活動を尊重する必要があること、
- ・ 都内には支所がないこと、
との理由から、『都内』で開催することで検討を進める。

企業紹介のブース設置について

- ・ 企業のリクルートのための企業紹介のブースを設けることについては、75%の賛同が得られていることから、設置する方向で検討を進める。

(2) 「学生研究発表会検討WG」の設置

平成 22 年度の開催に向け、具体案を検討するために「学生研究発表会検討WG」を設置する。

WGメンバー

(主査) 総務企画幹事

(委員) 学生研究発表会(仮称)の設置にご関心のある東京支部所属の先生方
東京支部協議員の先生方のうち、ご関心のある先生方
協議員(学生研究発表会担当)

(幹事) 総務企画幹事補佐

主な検討事項

- ・ 枠組み
- ・ 実施に向けた具体的な進め方

スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
委員の募集										
枠組み検討										
概略のアナウンス			...								
具体的な進め方検討		

- ・ は支部役員会開催日
- ・ は支部連合研究会(東京電機大学)(9月8日)

「学生研究発表会検討WG」委員の募集

平成22年度の開催に向け、具体案を検討するために「学生研究発表会検討WG」を設置します。

つきましては、WGの委員を募集いたしますので、東京支部所属の先生方のうち、学生研究発表会(仮称)の設置にご関心のある先生方がおられましたら、電気学会東京支部事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

(1) 募集対象

東京支部所属の先生方のうち、学生研究発表会(仮称)の設置にご関心のある先生方

(2) 募集期間

平成21年7月3日(金)まで

(3) 活動期間

平成21年7月～平成22年5月(予定)

(4) その他

- ・ WG委員就任は支部役員会にて承認されます。
- ・ WG委員就任にあたり、学会より、委嘱状をお送りいたします。
- ・ WG出席に伴う交通費は、学会本部の総務・規程1-0-3「会議・委員会等出席者の交通費に関する申し合わせ」に基づき、お支払いいたします。

(http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/01s_k1-0-3.pdf)

以上

本件に関する問い合わせ窓口

社団法人 電気学会 東京支部 事務局

電子メール：tokyo-cp@iee.or.jp

電話：03-3221-7312

〒102-0076 東京都千代田区五番町 6 - 2 HOMAT HORIZON ビル 8 階